

西予市 住宅再建意向調査 報告書

平成 31 年 3 月

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- 本調査は、西予市における平成30年7月豪雨からの住まい・集落等の復旧・復興に向けた基本方針等を検討するにあたり、被災世帯の住宅再建に係る意向や課題、災害公営住宅への入居や移転再建などに関する基礎的な意向把握を目的として実施した。

(2) 対象世帯

- 平成30年7月豪雨により市内で被災し、住家の「全壊」、「大規模半壊」、「半壊」、「一部損壊（床上浸水以上）」のり災証明を有する世帯（461世帯）。

(3) 調査の方法

- 配布：郵送により配布（返信用封筒を同封）
- 回収：市役所への郵送により回収

(4) 調査期間

- 2018年12月中旬に配布し、2019年1月11日（金）を提出期限とした。

(5) 配布数・回収数

- 配布数：461票
- 回収数：256票
- 回収率：55.5%

■ 地区別の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
野村町（三島・本町一丁目）	79	56	70.9%
うち、集団移転候補エリア	(47)	(36)	(76.6%)
野村町（それ以外）	303	158	52.1%
野村町以外	79	42	53.2%
全体	461	256	55.5%

■ 被災状況別の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
全壊	154	93	60.4%
大規模半壊	78	40	51.3%
半壊	207	112	54.1%
一部損壊（床上浸水）	22	11	50.0%
全体	461	256	55.5%

2. 調査票

(1) 調査票

平成30年12月

西予市

「住宅再建意向調査」ご協力のお願い

この度の7月の豪雨により被害に遭われた市民の皆様へ、心からお見舞い申し上げます。
西予市では、被災された市民の皆様のお住まいの復興に向けた取り組みを進めているところ
です。そこで、お住まいに被害を受けられた皆様の復興に向けたお考えをお伺いする
アンケート調査を実施いたします。

被災後の生活で大変にご心労のことと存じますが、調査の目的をご理解いただき、ご協
力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容は、統計的に処理し、復興に向けた取り組みの検討以外に
使用することはありません。

○ 記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、次の提出期限までにご返送ください。

提出期限：平成31年1月11日（金）まで

※ 質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

西予市役所 総務企画部 復興支援課

電話 0894-62-1455

西予市役所 建設部 建設課

電話 0894-62-6410

ご記入にあたってのお願いと注意点

1. 回答は、できるだけ世帯主ご本人がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄にあてはまる数値、文字、文章などをご記入ください。
3. 回答にあたっては、同封の『参考資料 住宅再建への支援制度等について』をご覧ください。ただいたうえでご記入ください。

0001

あなたの世帯についてお伺いします

問1 世帯主の氏名、年齢についてご記入ください。また、当てはまる性別に○印をご記入ください。

氏名		年齢	歳	性別	男・女
----	--	----	---	----	-----

問2 生計を共にしているご家族の人数は何人ですか。a. 被災前(平成30年7月1日)と、b. 現在(平成30年12月1日)のそれぞれについて、ご本人を含む家族全員の人数をご記入ください。また、下記の年齢等の区分ごとに、該当するご家族の人数をご記入ください。

a. 被災前の家族人数について (平成30年7月1日)			b. 現在の家族人数について (平成30年12月1日)		
家族全員 _____人	うち未就学児	人	家族全員 _____人	うち未就学児	人
	うち小中学生	人		うち小中学生	人
	うち15～64歳	人		うち15～64歳	人
	うち65～74歳	人		うち65～74歳	人
	うち75歳以上	人		うち75歳以上	人

問3 現在の世帯構成について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. 単身(65歳以上)	6. 夫婦と子ども
2. 単身(64歳以下)	7. 夫婦と親
3. 夫婦のみ(ともに65歳以上)	8. 3世代以上
4. 夫婦のみ(どちらかが64歳以下)	9. ひとり親と子ども
5. 夫婦のみ(どちらも64歳以下)	10. その他()

問4 世帯主の現在の就業状況について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. 就業者(被災前と同じ職業)	5. 無職(失業保険)
2. 就業者(被災前と異なる職業・転職)	6. 無職(その他の定期的な収入)
3. 求職中	7. 無職(収入なし)
4. 無職(年金)	8. その他()

被災されたお住まいについてお伺いします

問5 被災した住宅のご住所をご記入ください。

住 所	〒□□□□ — □□□□□□ 西予市 町
-----	-------------------------

問6 被災した住宅の所有関係及び建て方について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

	所有関係及び建て方等
持家にお住まいだった方	1. 一戸建て 2. 長屋建て 3. 共同建て（マンション等）
借家にお住まいだった方	4. 民間賃貸住宅（一戸建て・長屋建て） 5. 民間賃貸住宅（アパート、マンション等） 6. 公営住宅 7. 社宅、官舎など

問7 被災した住宅の被災状況について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 全壊 | 3. 半壊 |
| 2. 大規模半壊 | 4. 一部損壊 |

問8 現在の住宅について、左の1～3の中から当てはまるもの一つに○印をご記入ください。
また、「2. 被災した住宅とは別の住宅に住んでいる」と回答された場合、住宅の種類について右欄に示す2-1～2-6の中から当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. 被災した住宅に住んでいる	
2. 被災した住宅とは別の住宅に住んでいる	→
3. その他 ()	
	2-1. 建設型応急仮設住宅 2-2. 既設の公営住宅等（教職員住宅等を含む） 2-3. みなし応急仮設住宅（民間賃貸住宅） 2-4. 民間賃貸住宅（みなし応急仮設住宅を除く） 2-5. 親類・知人宅 2-6. その他 ()

問9 被災した住宅に対する解体・撤去や修理等の対応について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. すでに解体・撤去した	5. 解体や修理をする予定はない
2. 今後、解体・撤去をする予定である	6. 解体や修理等の対応を決めていない
3. すでに修理した	7. その他
4. 今後、修理をする予定である	()

4～5ページは、問 11 で「オ. 市営住宅(災害公営住宅含む)に入居したい」とお答えになった方のみにお伺いします。

市営住宅(災害公営住宅)についてお伺いします

※添付した「参考資料 住宅再建への支援制度等について」を参考にして、ご記入ください。
 ※市営住宅(災害公営住宅)を建設するかどうかや、建設する場合の場所、構造や建て方、間取り・規模等はこの意向調査をもとに今後決定します。また、ご希望に添うことを確約するものではないことをご了承ください。

問 12 市営住宅(災害公営住宅)に入居する予定の家族人数等について、ご記入ください。
 (現在は別世帯でも今後同居される予定であれば、人数に含めてください。)

入居予定の家族人数について		
家族全員 _____人	うち未就学児	人
	うち小中学生	人
	うち 15～64 歳	人
	うち 65～74 歳	人
	うち 75 歳以上	人

問 13 入居を希望する市営住宅(災害公営住宅)のタイプ(構造及び建て方)について、それぞれ当てはまるもの一つずつに○印をご記入ください。

構造	1. 木造	2. 非木造 (鉄筋コンクリート造)	3. 現時点では決められない
建て方	1. 一戸建て	2. 長屋建て	3. 共同建て(アパート、マンション形式)
			4. 現時点では決められない
			5. その他()

問 14 入居を希望する市営住宅(災害公営住宅)の間取り・規模(面積)について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. 1DK (40㎡台)
2. 2DK (50㎡台)
3. 3DKまたは2LDK (60㎡台)
4. 4DKまたは3LDK (70㎡台)
5. 現時点では決められない

※住戸の間取り・規模(面積)のイメージについては、添付の参考資料を参考にしてください。

問 15 市営住宅(災害公営住宅)の立地場所などについて、どのようなことを重視しますか。

当てはまるもの3つに○印をご記入ください。

1. バス停などの近くにあること
2. 日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること
3. 銀行・郵便局などの近くにあること
4. 医療・福祉施設の近くにあること
5. 保育所(園)・幼稚園の近くにあること
6. 小学校・中学校の近くにあること
7. 役場の近くにあること
8. 被災前の集落や地域のコミュニティ、交流関係の維持
9. その他

問 16 市営住宅(災害公営住宅)の入居期間等について、現時点での希望などがありますか。

当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

1. 市営住宅(災害公営住宅)にずっと住み続けたい
2. いずれは住宅(持ち家)を再建(あるいは購入)し、転居したい
3. いずれは賃貸マンションやアパートへ転居したい
4. わからない
5. その他

問 17 市営住宅(災害公営住宅)について、ご意見があればご自由にご記入ください。

●問 11 で「オ. 市営住宅(災害公営住宅含む)に入居したい」とお答えになった方への設問はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
※その他のご意見がありましたら、最終7ページにご記入願います。

6 ページは、問 11 で「カ. 被災前とは別の住所に移転したい」と
お答えになった方のみにお伺いします。

問 18 移転したい理由について、最も当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 元の場所は、今後の被災が不安 | 4. 自分や家族の仕事や通学等の都合 |
| 2. 元の場所は再建に時間がかかりそう | 5. その他 |
| 3. 近親者の住まいがある | () |

問 19 移転先での住まいの希望について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 宅地を購入して持ち家を建設したい | 4. マンションやアパートに住みたい |
| 2. 借地に持ち家を建設したい | 5. 子ども・親族等の家に同居したい |
| 3. 既存の住宅を買いたい | 6. その他 () |

問 20 移転先の住所(希望)について、当てはまるもの一つに○印をご記入ください。

「2」(市内の別の地域でもよい)と回答された方は、右の設間にもお答えください。

- | |
|-----------------|
| 1. 被災前と同一の地域がよい |
| 2. 市内の別の地域でもよい |
| 3. 市外がよい |
| 4. どこでもよい |
| 5. わからない |
| 6. その他 |
| () |

住みたいと思う地域を具体的にお書きください

問 21 問 19 で「1」(宅地を購入して持ち家を建設したい)と回答された方にお聞きます。

宅地(敷地)の規模のご希望について、現時点のお考えで結構ですのでご記入ください

m²程度

問 22 移転先について重視することとして、当てはまるもの3つに○印をご記入ください。

- | |
|------------------------------|
| 1. バス停などの近くにあること |
| 2. 日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること |
| 3. 銀行・郵便局などの近くにあること |
| 4. 医療・福祉施設の近くにあること |
| 5. 保育所(園)・幼稚園の近くにあること |
| 6. 小学校・中学校の近くにあること |
| 7. 役場の近くにあること |
| 8. 被災前の集落や地域のコミュニティ、交流関係の維持 |
| 9. その他 |
| () |

●問 11 で「カ. 被災前とは別の住所へ移転したい」とお答えになった方への設問はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
※その他のご意見がありましたら、下記にご記入願います。

■ 住まいの復興やその他ご意見等があればご自由にご記入ください。

設問は以上で終了となります。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
このアンケート用紙を、同封の封筒に入れて平成 31 年 1 月 11 日(金)まで
(当日消印有効)にご返送ください。

(2) 添付資料

参考資料 住宅再建への支援制度等について

意向調査のご回答にあたっては、本紙を参考にしてください。
 (住宅の被災状況によって活用できる支援制度は異なりますので、り災証明書の『被災の状況』欄もご確認ください。)

支援制度の内容等は、現時点の情報であり、今後変更する可能性があります。なお、西予市が発行しております「平成30年7月豪雨で被災された皆様に対する支援制度について」のしおりもご確認ください。

1. 市営住宅(災害公営住宅)への入居を考えている方**●入居資格****【市営住宅】**

- ・地方税の滞納がないこと
- ・現に同居し、または同居しようとする親族があること
- ・申込者の収入が一定の収入額以下であること。
- ・現に住宅を困窮していることが明らかなこと。
- ・暴力団員でないこと。

【災害公営住宅】

- ・災害により住宅を失った方(※)で住宅に困窮している方が対象です。
 ※原則、全壊の方が対象ですが、大規模半壊や半壊で解体を余儀なくされた方などを対象にできる可能性があります。(ただし、収入が特に高い方については、将来的には転居をお願いする可能性があります)

●家賃

- ・応急仮設住宅と異なり、「家賃」を支払う必要があります。
- ・家賃の額は、入居世帯の収入、住宅の広さや建て方などによって異なりますが、通常の民間賃貸住宅よりも低い家賃になるよう検討します。
 参考として、下表に西予市が近年建設した市営住宅の家賃をお示しいたします。

【市営住宅家賃表】 ※参考（住宅の広さ、建て方などで金額が異なります）

団地名	所在地	構造	型別	概算家賃(円)	住居専用面積(m ²)	建設年度
卯之町 山の手	卯之町 二丁目	木造平屋	2DK	17,300~ 25,800	60.08	平成29年
卯之町 山の手	卯之町 二丁目	木造2階	3LDK	27,100~ 40,400	93.86	平成29年
緑ヶ丘 A.B.C棟	野村町阿下	木造平屋	2DK	16,800~ 29,700	60.01 71.29	平成24年

●住宅の形式

- ・住宅の建て方や規模、間取りは、アンケート調査などで希望を把握し、市で判断して決定します。

世帯構成に応じた適正な住戸規模(間取り)の目安

形式(間取り) 世帯構成	1DK (40~50㎡)	2DK (50~60㎡)	3DKまたは2LDK (60~70㎡)	4DKまたは3LDK (70㎡以上)
単身世帯	概ね適正な規模		(広い)	(広い)
2人世帯 (中高年)	(狭い)	概ね適正な規模	(広い)	(広い)
2人世帯 (若年)	(狭い)	概ね適正な規模		(広い)
3人世帯	(狭い)	概ね適正な規模		(広い)
4人世帯	(狭い)	(狭い)	概ね適正な規模	
5人世帯	(狭い)	(狭い)	概ね適正な規模	

■2DKの住宅(約55㎡)の事例 宮城県女川町営住宅



事例：一戸建て住宅



事例：長屋建て住宅



事例：共同建ての住宅



2. 生活再建への対応

■ 被災者生活再建支援制度

- ・住居に被害を受けた世帯を対象に、国の生活再建支援金および 県・市の生活再建緊急支援金が被害区分に応じて支給されます。

【対象となる方】：次のとおり、居住する住宅の被災状況によります。

- ①住居が「全壊」した世帯
- ②住居が半壊、又は住居の敷地に被害が生じ、その住居をやむを得ず解体した世帯(全壊扱いとなります。)
- ③住居が半壊し、大規模な補修を行わなければ居住することが困難な世帯(大規模半壊世帯)
- ④住居が「半壊」した世帯
- ⑤住居が半壊に至らない「床上浸水」した世帯(り災照明「一部損壊(床上)」の世帯)

【支援金の支給額】：支援金の支給額は、以下の最大 3 つの支援金の合計額になります。

- ①住居の被害程度に応じて支給する国の支援金(基礎支援金)
 - ②住居の再建方法に応じて支給する国の支援金(加算支援金)
 - ③住居の被害程度に応じて支給する県・市の支援金(特別支援金)
- (※世帯人数が 1 人の場合は、支給金額一覧表の()内の金額となります。)

【支給金額一覧表】

被害区分	住宅再建等区分	基礎支援金 (国の支援金)	加算支援金 (国の支援金)	特別支援金 (県・西予市の支援金)	合計 (国+県・西予市の支援金)
全壊 解体	建設・購入	100 万円 (75 万円)	200 万円 (150 万円)	75 万円 (562,500 円)	375 万円 (2,812,500 円)
	補修		100 万円 (75 万円)		275 万円 (2,062,500 円)
	賃貸住宅 ※公営住宅等 入居者を除く。		50 万円 (37.5 万円)		225 万円 (1,687,500 円)
大規模半壊	建設・購入	50 万円 (37.5 万円)	200 万円 (150 万円)	75 万円 (562,500 円)	325 万円 (2,437,500 円)
	補修		100 万円 (75 万円)		225 万円 (1,687,500 円)
	賃貸住宅 ※公営住宅等 入居者を除く。		50 万円 (37.5 万円)		175 万円 (1,312,500 円)
半壊	—	—	—	37.5 万円 (281,250 円)	37.5 万円 (281,250 円)
一部損壊 (床上)	—	—	—	22.5 万円 (168,750 円)	22.5 万円 (168,750 円)

※公営住宅等には、応急仮設住宅及び民間借上げ住宅(みなし仮設住宅)も含まれます。
※単身世帯は()の金額になります。

●融資対象と融資の概要

融資対象	融資の概要
新築建設、 新築購入、 中古購入	<ul style="list-style-type: none"> 災害で住宅が「全壊」、「大規模半壊」または「半壊」した旨の「り災証明書」を交付されている方が利用できます。 （既に被災住宅の復旧が行われている場合は、原則として融資をご利用いただけません。） 満60歳以上の方がご利用いただける<高齢者向け返済特例>があります。（月々のご返済は利息のみとするしくみです。）
リフォーム (補修)	<ul style="list-style-type: none"> 災害で住宅に被害を受けた旨の「り災証明書」を交付されている方が利用できます。（「一部損壊」も対象になります。） （既に被災住宅の復旧が行われている場合は、原則として融資をご利用いただけません。） 満60歳以上の方がご利用いただける<高齢者向け返済特例>があります。
中古購入＋ リフォーム	<ul style="list-style-type: none"> 災害で住宅が「全壊」、「大規模半壊」または「半壊」した旨の「り災証明書」を交付されている方が利用できます。 （既に被災住宅の復旧が行われている場合は、原則として融資をご利用いただけません。） 中古住宅の購入時およびリフォーム工事終了後の2回に分けて資金をお受取りいただけます。

- いずれも申込受付期間は被災日から2年間です。

■問合せ先

住宅金融支援機構 お客様コールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353（通話料無料）

- ご利用いただけない場合（国際電話等）は、次の番号におかけください。
Tel 048-615-0420（通話料金がかかります。）
- 営業時間：9時～17時（祝日、年末年始を除き、土日も営業しています。）

3. 集計結果

ここでは、住宅再建意向調査の調査結果について整理、分析する。

集計結果は以下の構成で示す。

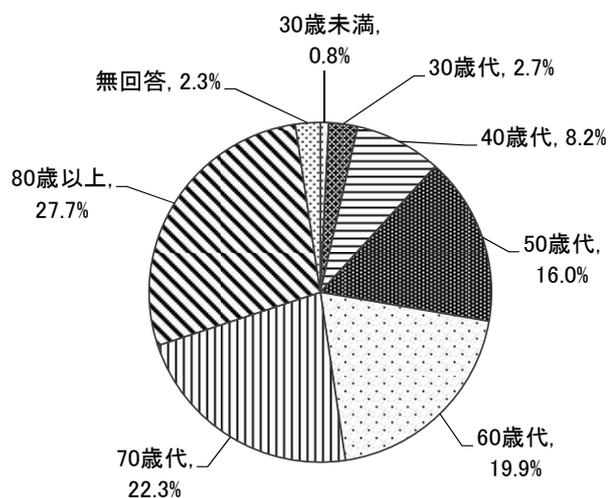
(1) 回答者の世帯について	16
(2) 被災したお住まいについて	21
(3) 住宅再建等に当たっての課題について	31
(4) 住宅再建等への意向について	33
(5) 市営住宅（災害公営住宅）について	39
(6) 移転再建について	45

(1) 回答者の世帯について

問1 世帯主の年齢、性別

<世帯主の年齢>

- 年齢については、「80歳以上」が27.7%と最も多く、次いで「70歳代」が22.3%となっている。



	回答数	構成比
30歳未満	2	0.8%
30歳代	7	2.7%
40歳代	21	8.2%
50歳代	41	16.0%
60歳代	51	19.9%
70歳代	57	22.3%
80歳以上	71	27.7%
無回答	6	2.3%
計	256	100.0%

(N=256)

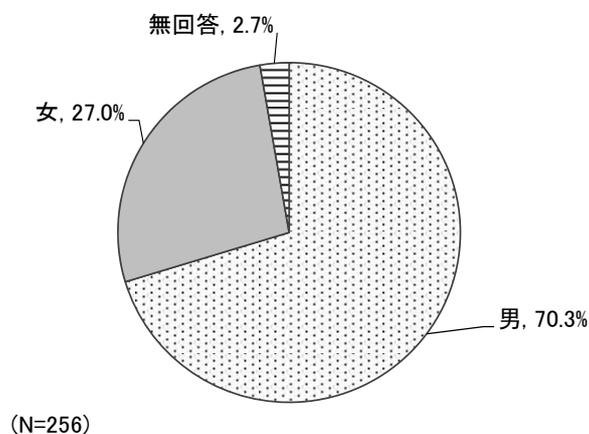
■ 被災した地区×年齢（問1）

- 被災した地区別にみると、野村町以外の地区において、「60歳代以上」が80%以上を占めている。

		回答者数	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	人数	256	2	7	21	41	51	57	71	6
	構成比		0.8%	2.7%	8.2%	16.0%	19.9%	22.3%	27.7%	2.3%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	2	2	5	10	10	11	16	0
	構成比		3.6%	3.6%	8.9%	17.9%	17.9%	19.6%	28.6%	0.0%
野村町 (それ以外)	人数	158	0	5	15	24	33	38	37	6
	構成比		0.0%	3.2%	9.5%	15.2%	20.9%	24.1%	23.4%	3.8%
野村町以外	人数	42	0	0	1	7	8	8	18	0
	構成比		0.0%	0.0%	2.4%	16.7%	19.0%	19.0%	42.9%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<世帯主の性別>

- 性別については、「男性」が70.3%、「女性」が27.0%となっている。



	回答数	構成比
男	180	70.3%
女	69	27.0%
無回答	7	2.7%
計	256	100.0%

■ 被災した地区×性別（問1）

- 被災した地区別にみると、いずれも男性の方が多いが、野村町以外の地区において、「女性」の割合が若干高くなっている。

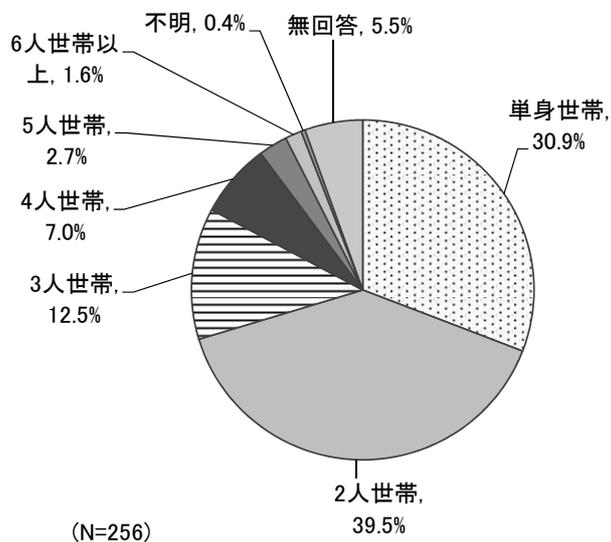
		回答者数	男	女	無回答
全体	人数	256	180	69	7
	構成比		70.3%	27.0%	2.7%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	41	15	0
	構成比		73.2%	26.8%	0.0%
野村町 (それ以外)	人数	158	111	41	6
	構成比		70.3%	25.9%	3.8%
野村町以外	人数	42	28	13	1
	構成比		66.7%	31.0%	2.4%
無回答	人数	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問2 生計を共にしている家族の人数

＜被災前の家族の人数＞

- 被災前、生計を共にしていた家族の人数については、「2人世帯」が39.5%と最も多く、次いで「単身世帯」が30.9%となっている。



	回答数	構成比
単身世帯	79	30.9%
2人世帯	101	39.5%
3人世帯	32	12.5%
4人世帯	18	7.0%
5人世帯	7	2.7%
6人世帯以上	4	1.6%
不明	1	0.4%
無回答	14	5.5%
計	256	100.0%

■ 被災した地区×被災前、生計を共にしていた家族の人数（問2）

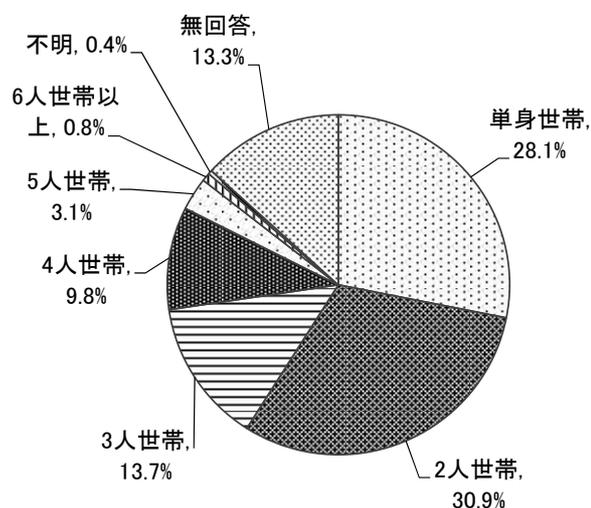
- 被災した地区別にみると、野村町以外の地区において、「単身世帯」が最も多くなっている。

		回答者数	単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯以上	不明	無回答
全体	人数	256	79	101	32	18	7	4	1	14
	構成比		30.9%	39.5%	12.5%	7.0%	2.7%	1.6%	0.4%	5.5%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	13	25	12	4	1	0	1	0
	構成比		23.2%	44.6%	21.4%	7.1%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%
野村町 (それ以外)	人数	158	48	64	15	13	5	4	0	9
	構成比		30.4%	40.5%	9.5%	8.2%	3.2%	2.5%	0.0%	5.7%
野村町以外	人数	42	18	12	5	1	1	0	0	5
	構成比		42.9%	28.6%	11.9%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	11.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

＜現在の家族の人数＞

- 現在、生計を共にしている家族の人数については、「2人世帯」が30.9%と最も多く、次いで「単身世帯」が28.1%であり、被災前と同じ順番だが、1位と2位の差は縮小している



	回答数	構成比
単身世帯	72	28.1%
2人世帯	79	30.9%
3人世帯	35	13.7%
4人世帯	25	9.8%
5人世帯	8	3.1%
6人世帯以上	2	0.8%
不明	1	0.4%
無回答	34	13.3%
計	256	100.0%

(N=256)

■ 被災した地区×現在、生計を共にしている家族の人数（問2）

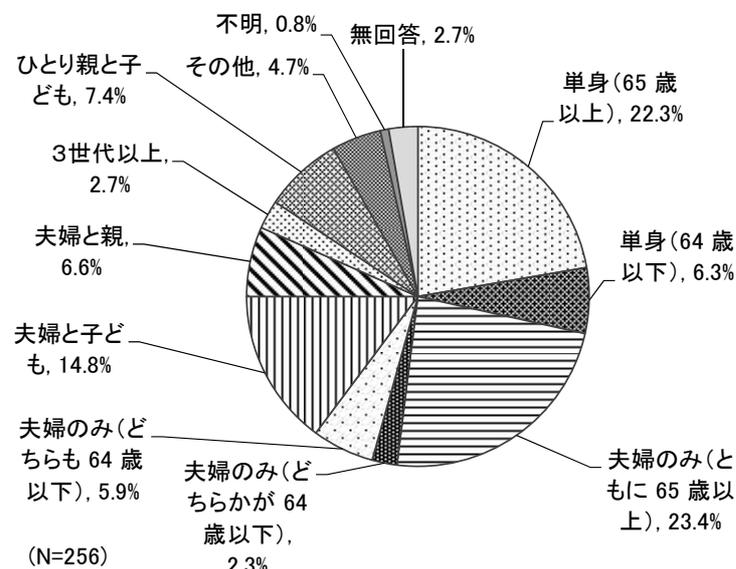
- 被災した地区別にみると、野村町（それ以外）、野村町以外の地区において、「単身世帯」が最も多くなっている（ただし、「野村町（それ以外）」では「2人世帯」も同率1位）。

		回答者数	単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯以上	不明	無回答
全体	人数	256	72	79	35	25	8	2	1	34
	構成比		28.1%	30.9%	13.7%	9.8%	3.1%	0.8%	0.4%	13.3%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	10	21	10	6	1	0	1	7
	構成比		17.9%	37.5%	17.9%	10.7%	1.8%	0.0%	1.8%	12.5%
野村町 (それ以外)	人数	158	45	45	20	17	7	2	0	22
	構成比		28.5%	28.5%	12.7%	10.8%	4.4%	1.3%	0.0%	13.9%
野村町以外	人数	42	17	13	5	2	0	0	0	5
	構成比		40.5%	31.0%	11.9%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問3 現在の世帯構成

- 現在の世帯構成については、「夫婦のみ（ともに 65 歳以上）」が 23.4%と最も多く、次いで「単身（65 歳以上）」が 22.3%となっている。



	回答数	構成比
単身（65 歳以上）	57	22.3%
単身（64 歳以下）	16	6.3%
夫婦のみ（ともに 65 歳以上）	60	23.4%
夫婦のみ（どちらかが 64 歳以下）	6	2.3%
夫婦のみ（どちらも 64 歳以下）	15	5.9%
夫婦と子ども	38	14.8%
夫婦と親	17	6.6%
3 世代以上	7	2.7%
ひとり親と子ども	19	7.4%
その他	12	4.7%
不明	2	0.8%
無回答	7	2.7%
計	256	100.0%

＜その他の具体的内容＞

- ・ 兄、妹
- ・ 姉と妹（本人）
- ・ 叔母と甥
- ・ 夫婦と妹
- ・ 孫

■ 被災した地区×現在の世帯構成（問3）

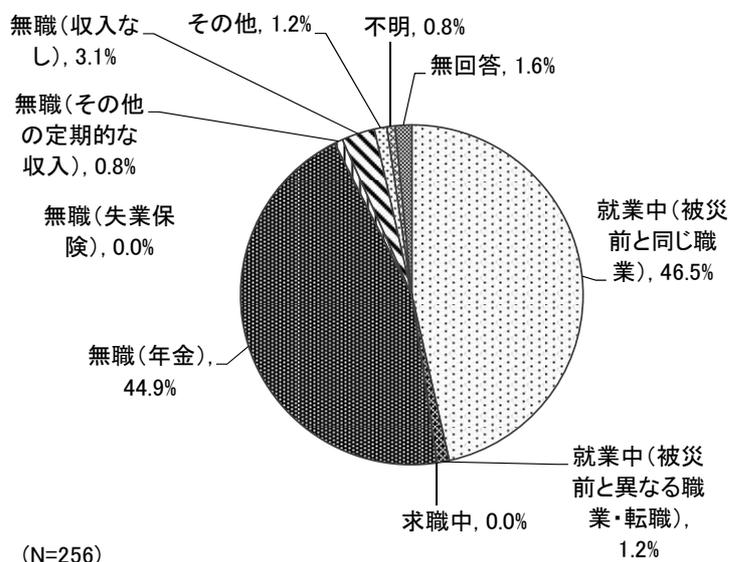
- 被災した地区別にみると、野村町以外の地区において、「単身世帯（65 歳以上）」が最も多くなっている。また、野村町（三島・本町一丁目）では「夫婦と子ども」が他地区と比較して多くなっている。

		回答者数	単身（65 歳以上）	単身（64 歳以下）	夫婦のみ（ともに 65 歳以上）	夫婦のみ（どちらかが 64 歳以下）	夫婦のみ（どちらも 64 歳以下）	夫婦と子ども	夫婦と親	3 世代以上	ひとり親と子ども	その他	不明	無回答
全体	人数	256	57	16	60	6	15	38	17	7	19	12	2	7
	構成比		22.3%	6.3%	23.4%	2.3%	5.9%	14.8%	6.6%	2.7%	7.4%	4.7%	0.8%	2.7%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	9	2	15	1	3	12	2	0	7	5	0	0
	構成比		16.1%	3.6%	26.8%	1.8%	5.4%	21.4%	3.6%	0.0%	12.5%	8.9%	0.0%	0.0%
野村町 （それ以外）	人数	158	32	12	38	4	9	21	14	7	8	6	2	5
	構成比		20.3%	7.6%	24.1%	2.5%	5.7%	13.3%	8.9%	4.4%	5.1%	3.8%	1.3%	3.2%
野村町以外	人数	42	16	2	7	1	3	5	1	0	4	1	0	2
	構成比		38.1%	4.8%	16.7%	2.4%	7.1%	11.9%	2.4%	0.0%	9.5%	2.4%	0.0%	4.8%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

問4 世帯主の現在の就業状況

- 現在の就業状況については、「就業者（被災前と同じ職業）」が46.5%と最も多く、次いで「無職（年金）」が44.9%となっている。



	回答数	構成比
就業者（被災前と同じ職業）	119	46.5%
就業者（被災前と異なる職業・転職）	3	1.2%
求職中	0	0.0%
無職（年金）	115	44.9%
無職（失業保険）	0	0.0%
無職（その他の定期的な収入）	2	0.8%
無職（収入なし）	8	3.1%
その他	3	1.2%
不明	2	0.8%
無回答	4	1.6%
計	256	100.0%

<その他の具体的内容>

- ・農業

■ 被災した地区×現在の就業状況（問4）

- 被災した地区別にみると、野村町以外の地区において、「無職（年金）」が最も多くなっている。

		回答者数	就業者（被災前と同じ職業）	就業者（被災前と異なる職業・転職）	求職中	無職（年金）	無職（失業保険）	無職（その他の定期的な収入）	無職（収入なし）	その他	不明	無回答
全体	人数	256	119	3	0	115	0	2	8	3	2	4
	構成比		46.5%	1.2%	0.0%	44.9%	0.0%	0.8%	3.1%	1.2%	0.8%	1.6%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	26	1	0	25	0	0	2	1	0	1
	構成比		46.4%	1.8%	0.0%	44.6%	0.0%	0.0%	3.6%	1.8%	0.0%	1.8%
野村町 (それ以外)	人数	158	80	2	0	63	0	2	6	2	0	3
	構成比		50.6%	1.3%	0.0%	39.9%	0.0%	1.3%	3.8%	1.3%	0.0%	1.9%
野村町以外	人数	42	13	0	0	27	0	0	0	0	2	0
	構成比		31.0%	0.0%	0.0%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

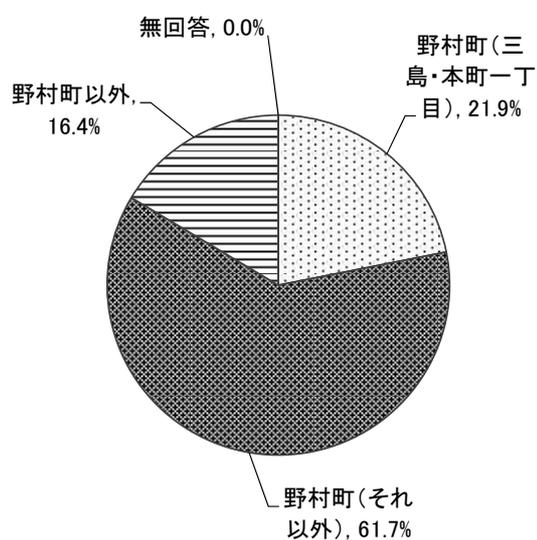
1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

(2) 被災したお住まいについて

問5 被災した住宅の住所

※被災地区を3分類したもの

- 被災地区については、「野村町（それ（三島・本町一丁目）以外）」が 61.7%と最も多く、次いで「野村町（三島・本町一丁目）」が 21.9%となっている。

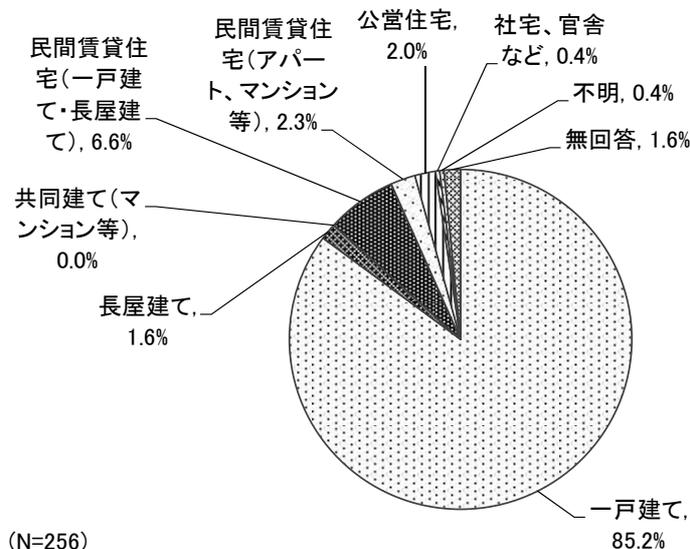


野村町(三島・本町一丁目)のうち、
集団移転候補エリアのアンケート
回答者は 36 世帯

	回答数	構成比
野村町（三島・本町一丁目）	56	21.9%
野村町（それ以外）	158	61.7%
野村町以外	42	16.4%
無回答	0	0.0%
計	256	100.0%

問6 被災した住宅の所有関係及び建て方

- 被災した住宅の所有関係及び建て方については、「一戸建て」が85.2%と最も多くなっている。



	回答数	構成比
一戸建て	218	85.2%
長屋建て	4	1.6%
共同建て(マンション等)	0	0.0%
民間賃貸住宅(一戸建て・長屋建て)	17	6.6%
民間賃貸住宅(アパート、マンション等)	6	2.3%
公営住宅	5	2.0%
社宅、官舎など	1	0.4%
不明	1	0.4%
無回答	4	1.6%
計	256	100.0%

■ 被災した地区×被災した住宅の所有関係及び建て方(問6)

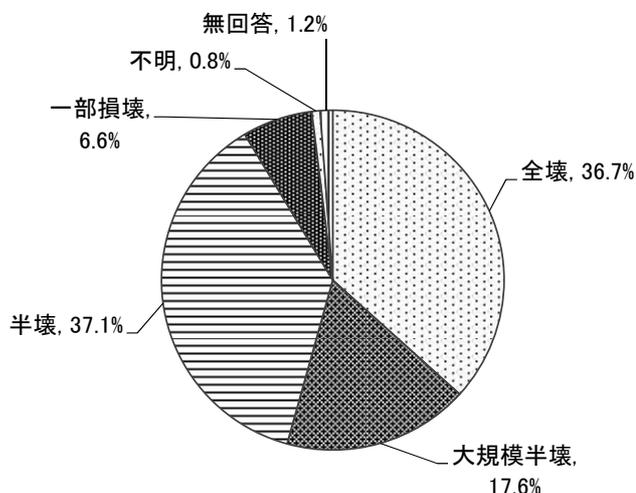
- 被災した地区別にみると、野村町以外の地区において、「公営住宅」が他地区と比較して多くなっている。

		回答者数	一戸建て	長屋建て	共同建て(マンション等)	民間賃貸住宅(一戸建て・長屋建て)	民間賃貸住宅(アパート、マンション等)	公営住宅	社宅、官舎など	不明	無回答	合計
全体	人数	256	218	4	0	17	6	5	1	1	4	256
	構成比		85.2%	1.6%	0.0%	6.6%	2.3%	2.0%	0.4%	0.4%	1.6%	100.0%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	56	45	2	0	6	3	0	0	0	0	56
	構成比		80.4%	3.6%	0.0%	10.7%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
野村町 (それ以外)	人数	158	138	1	0	10	3	1	1	1	3	158
	構成比		87.3%	0.6%	0.0%	6.3%	1.9%	0.6%	0.6%	0.6%	1.9%	100.0%
野村町以外	人数	42	35	1	0	1	0	4	0	0	1	42
	構成比		83.3%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問7 被災した住宅の被災状況

- 住宅の被災状況については、「半壊」が37.1%と最も多く、次いで「全壊」が36.7%となっている。



	回答数	構成比
全壊	94	36.7%
大規模半壊	45	17.6%
半壊	95	37.1%
一部損壊	17	6.6%
不明	2	0.8%
無回答	3	1.2%
計	256	100.0%

(N=256)

■ 被災した地区×被災した住宅の被災状況（問7）

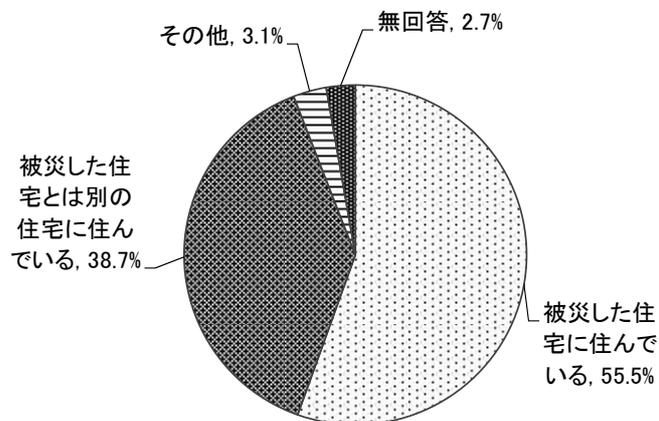
- 被災した地区別にみると、野村町（三島・本町一丁目）において、「全壊」が最も多くなっている。

		回答者数	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	不明	無回答
全体	人数	256	94	45	95	17	2	3
	構成比		36.7%	17.6%	37.1%	6.6%	0.8%	1.2%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	38	7	8	2	1	0
	構成比		67.9%	12.5%	14.3%	3.6%	1.8%	0.0%
野村町 （それ以外）	人数	158	46	35	64	10	1	2
	構成比		29.1%	22.2%	40.5%	6.3%	0.6%	1.3%
野村町以外	人数	42	10	3	23	5	0	1
	構成比		23.8%	7.1%	54.8%	11.9%	0.0%	2.4%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問8 現在の住宅

- 現在の住宅については、「被災した住宅に住んでいる」が55.5%と最も多く、次いで「被災した住宅とは別の住宅に住んでいる」が38.7%となっている。



	回答数	構成比
被災した住宅に住んでいる	142	55.5%
被災した住宅とは別の住宅に住んでいる	99	38.7%
その他	8	3.1%
無回答	7	2.7%
計	256	100.0%

(N=256)

<その他の具体的内容>

- ・入院中である
- ・養護老人ホーム
- ・老健施設
- ・別の市にある自宅

■ 被災した地区×現在の住宅（問 8）

- 被災した地区別にみると、野村町（三島・本町一丁目）においては「被災した住宅とは別の住宅」が6割を超えている。

		回答者数	被災した住宅に住んでいる	被災した住宅とは別の住宅に住んでいる	その他	無回答
全体	人数	256	142	99	8	7
	構成比		55.5%	38.7%	3.1%	2.7%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	17	36	3	0
	構成比		30.4%	64.3%	5.4%	0.0%
野村町 （それ以外）	人数	158	103	46	3	6
	構成比		65.2%	29.1%	1.9%	3.8%
野村町以外	人数	42	22	17	2	1
	構成比		52.4%	40.5%	4.8%	2.4%
無回答	人数	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 被災状況×現在の住宅（問 8）

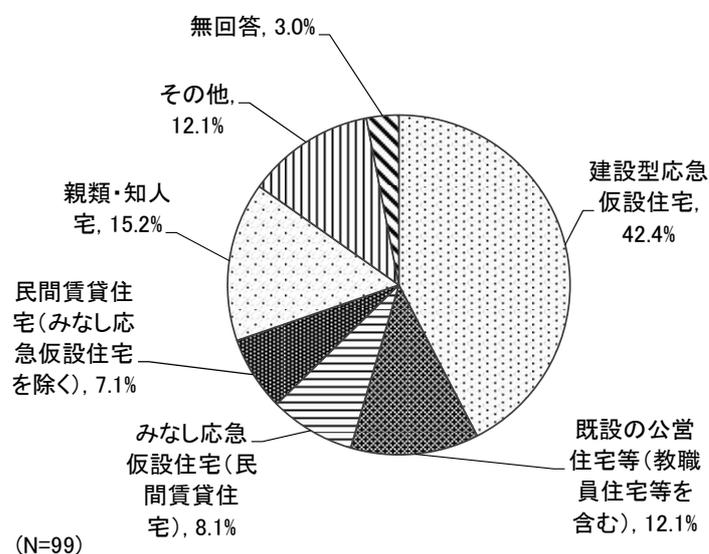
- 被災状況別にみると、全壊の方の7割が「被災した住宅とは別の住宅」に住んでいる。

		回答者数	被災した住宅に住んでいる	被災した住宅とは別の住宅に住んでいる	その他	無回答
全体	人数	256	142	99	8	7
	構成比		55.5%	38.7%	3.1%	2.7%
全壊	人数	94	21	67	6	0
	構成比		22.3%	71.3%	6.4%	0.0%
大規模半壊	人数	45	32	10	2	1
	構成比		71.1%	22.2%	4.4%	2.2%
半壊	人数	95	74	18	0	3
	構成比		77.9%	18.9%	0.0%	3.2%
一部半壊	人数	17	15	1	0	1
	構成比		88.2%	5.9%	0.0%	5.9%
不明	人数	2	0	2	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	0	1	0	2
	構成比		0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問 8-2 住宅の種類（問 8 で「被災した住宅とは別の住宅に住んでいる」を選択された方のみ回答）

- 「被災した住宅とは別の住宅に住んでいる」と回答された方の住宅の種類については、「建設型応急仮設住宅」が 42.4%と最も多く、次いで「親類・知人宅」が 15.2%となっている。



	回答数	構成比
建設型応急仮設住宅	42	42.4%
既設の公営住宅等(教職員住宅等を含む)	12	12.1%
みなし応急仮設住宅(民間賃貸住宅)	8	8.1%
民間賃貸住宅(みなし応急仮設住宅を除く)	7	7.1%
親類・知人宅	15	15.2%
その他	12	12.1%
無回答	3	3.0%
計	99	100.0%

<その他の具体的内容>

- ・半壊の別棟の二階で居住
- ・一戸建持ち家
- ・別邸
- ・被災した家以外に、被災していない持家がある
- ・持家を改造して(借家になっていた)

■ 被災した地区×現在の住宅の種類（問 8-2）

- 被災した地区別にみると、「建設型応急仮設」の割合は野村町の三島・本町地区で5割超、野村町のそれ以外で4割弱となっている。野村町以外の地区においては「既設の公営住宅等（教職員住宅等を含む）」が多くなっている。

		回答者数	建設型応急仮設住宅	既設の公営住宅等 (教職員住宅等を含む)	みなし応急仮設住宅 (民間賃貸住宅)	民間賃貸住宅(みなし応急仮設住宅を除く)	親類・知人宅	その他	無回答
全体	人数	99	42	12	8	7	15	12	3
	構成比		42.4%	12.1%	8.1%	7.1%	15.2%	12.1%	3.0%
野村町 (三島・本町一丁目)	人数	36	20	2	2	2	5	4	1
	構成比		55.6%	5.6%	5.6%	5.6%	13.9%	11.1%	2.8%
野村町 (それ以外)	人数	46	18	5	4	2	10	7	0
	構成比		39.1%	10.9%	8.7%	4.3%	21.7%	15.2%	0.0%
野村町以外	人数	17	4	5	2	3	0	1	2
	構成比		23.5%	29.4%	11.8%	17.6%	0.0%	5.9%	11.8%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 被災状況×現在の住宅の種類（問 8-2）

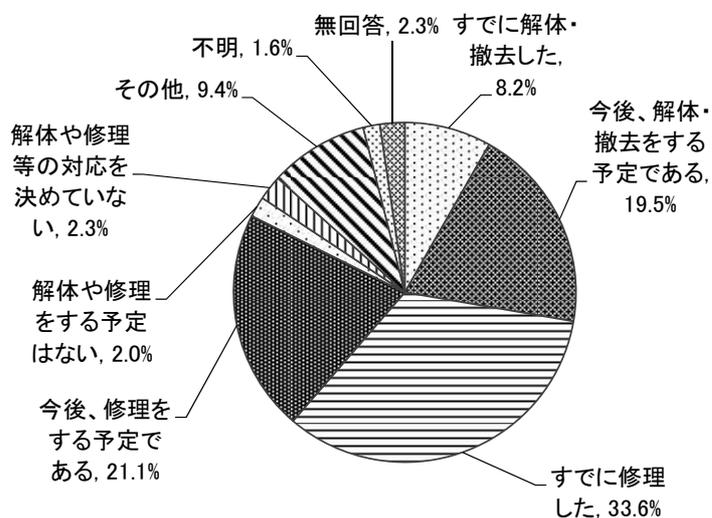
- 被災状況別にみると、全壊～半壊まで、大きな差はない。

		回答者数	建設型応急仮設住宅	既設の公営住宅等 (教職員住宅等を含む)	みなし応急仮設住宅 (民間賃貸住宅)	民間賃貸住宅(みなし応急仮設住宅を除く)	親類・知人宅	その他	無回答
全体	人数	99	42	12	8	7	15	12	3
	構成比		42.4%	12.1%	8.1%	7.1%	15.2%	12.1%	3.0%
全壊	人数	67	30	8	4	6	11	5	3
	構成比		44.8%	11.9%	6.0%	9.0%	16.4%	7.5%	4.5%
大規模半壊	人数	10	4	0	2	1	0	3	0
	構成比		40.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%
半壊	人数	18	7	3	1	0	4	3	0
	構成比		38.9%	16.7%	5.6%	0.0%	22.2%	16.7%	0.0%
一部半壊	人数	1	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	人数	2	0	0	1	0	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
無回答	人数	1	0	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問9 被災した住宅に対する解体・撤去や修理等の対応

- 解体・撤去や修理等の対応については、「すでに修理した」が33.6%と最も多く、次いで「今後、修理をする予定である」が21.1%となっている。対応を決めてないという回答も6件ある。



	回答数	構成比
すでに解体・撤去した	21	8.2%
今後、解体・撤去をする予定である	50	19.5%
すでに修理した	86	33.6%
今後、修理をする予定である	54	21.1%
解体や修理をする予定はない	5	2.0%
解体や修理等の対応を決めていない	6	2.3%
その他	24	9.4%
不明	4	1.6%
無回答	6	2.3%
計	256	100.0%

(N=256)

<その他の具体的内容>

- ・現在修理中
- ・一部は修理したが、その他の場所は未定
- ・一部は修理したが、その他の場所は今後、修理予定
- ・大家さんと相談
- ・借家の為、家主が対応している。
- ・家主に対し、解体同意書提出済。
- ・借家のため不明
- ・売却

■ 被災した地区×被災した住宅に対する解体・撤去や修理等（問9）

- 被災した地区別にみると、野村町（三島・本町一丁目）において、「修理した」や「修理予定」の割合が他地区と相対的に低く、「今後、解体・撤去をする予定である」が多くなっている。

		回答者数	すでに解体・撤去した	今後、解体・撤去をする予定である	すでに修理した	今後、修理をする予定である	解体や修理をする予定はない	解体や修理等の対応を決めていない	その他	不明	無回答
全体	人数	256	21	50	86	54	5	6	24	4	6
	構成比		8.2%	19.5%	33.6%	21.1%	2.0%	2.3%	9.4%	1.6%	2.3%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	8	16	11	9	0	2	6	2	2
	構成比		14.3%	28.6%	19.6%	16.1%	0.0%	3.6%	10.7%	3.6%	3.6%
野村町 （それ以外）	人数	158	10	27	60	35	5	2	14	2	3
	構成比		6.3%	17.1%	38.0%	22.2%	3.2%	1.3%	8.9%	1.3%	1.9%
野村町以外	人数	42	3	7	15	10	0	2	4	0	1
	構成比		7.1%	16.7%	35.7%	23.8%	0.0%	4.8%	9.5%	0.0%	2.4%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 被災状況×被災した住宅に対する解体・撤去や修理等（問9）

- 被災状況別にみると、大規模半壊の方の67%、半壊の方の78%が「修理した」「修理予定」である。
- 全壊の方は18%が解体済みで37%が解体予定であり、半数以上が解体するが、「修理した」「修理予定」も2割強を占めている。

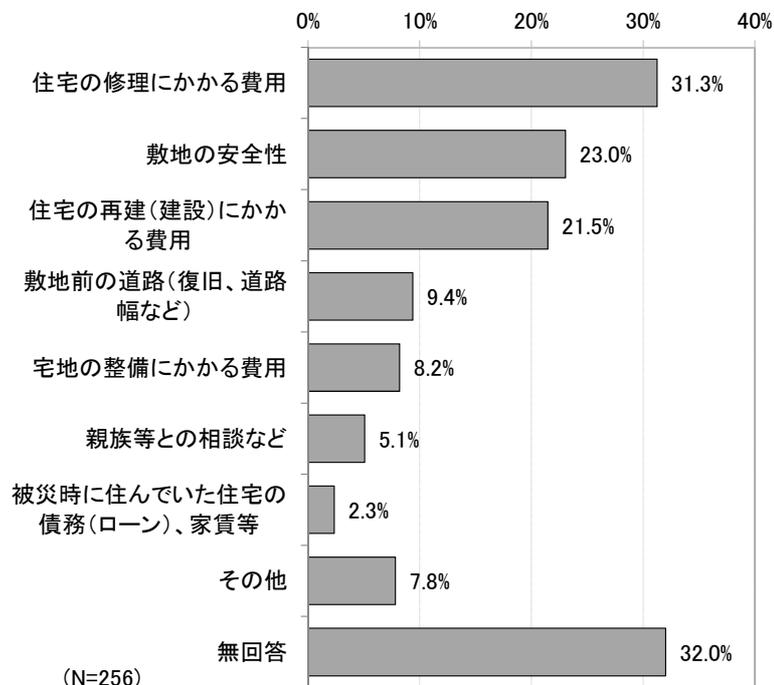
		回答者数	すでに解体・撤去した	今後、解体・撤去をする予定である	すでに修理した	今後、修理をする予定である	解体や修理をする予定はない	解体や修理等の対応を決めていない	その他	不明	無回答
全体	人数	256	21	50	86	54	5	6	24	4	6
	構成比		8.2%	19.5%	33.6%	21.1%	2.0%	2.3%	9.4%	1.6%	2.3%
全壊	人数	94	17	35	11	9	2	2	13	2	3
	構成比		18.1%	37.2%	11.7%	9.6%	2.1%	2.1%	13.8%	2.1%	3.2%
大規模半壊	人数	45	2	5	20	10	0	3	3	2	0
	構成比		4.4%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	6.7%	6.7%	4.4%	0.0%
半壊	人数	95	2	9	42	32	1	1	7	0	1
	構成比		2.1%	9.5%	44.2%	33.7%	1.1%	1.1%	7.4%	0.0%	1.1%
一部半壊	人数	17	0	0	13	3	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	76.5%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	人数	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(3) 住宅再建等にあたっての課題について

問 10 今後の住宅再建や確保にあたり困っていること

- 住宅再建等にあたっての課題については、「住宅の修理にかかる費用」が 31.3%と最も多く、次いで「敷地の安全性」が 23.0%となっている。



	回答数	構成比
住宅の再建(建設)にかかる費用	55	21.5%
住宅の修理にかかる費用	80	31.3%
宅地の整備にかかる費用	21	8.2%
被災時に住んでいた住宅の債務(ローン)、家賃等	6	2.3%
敷地の安全性	59	23.0%
敷地前の道路(復旧、道路幅など)	24	9.4%
親族等との相談など	13	5.1%
その他	20	7.8%
無回答	82	32.0%
計	256	100.0%

注) 構成比は、回答者数(256人)を母数として算出

<その他の具体的内容>

- ・新しい土地探し
- ・川の土砂、修理がされていない。
- ・危険地域指定で買い上げて欲しい。
- ・業者さんの手がすかない
- ・●●(お名前のため省略)を預かってくれる施設
- ・高齢であること
- ・再建はしない
- ・自宅裏の農地復旧が出来ないと車庫の建設が出来ない
- ・白アリ防除をしていないので心配している
- ・土砂災害だった為、裏山の崖防災の補修に一部負担がかかる事
- ・フロアーがきしむようになった。
- ・他の所に建設したいが、今迄の宅地と駐車場の固定資産を払い続ける事が出来ない。

■ 被災した地区×住宅再建等にあたっての課題（問10）

- 被災した地区別にみると、野村町（三島・本町一丁目）と野村町以外の地区において、「敷地の安全性」をあげる割合が高い傾向にある。

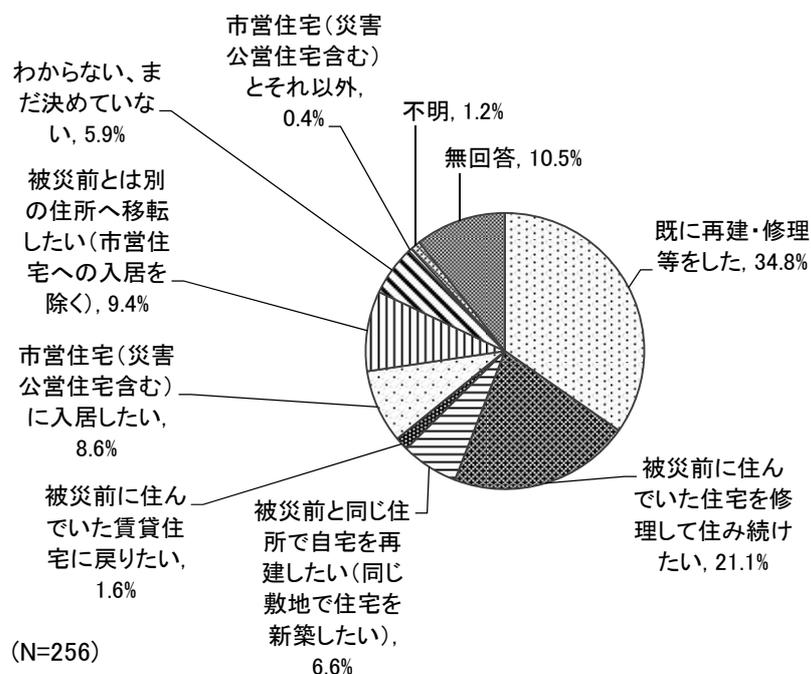
		回答者数	住宅の再建（建設）にかかる費用	住宅の修理にかかる費用	宅地の整備にかかる費用	被災時に住んでいた住宅の債務（ローン）、家賃等	敷地の安全性	敷地前の道路（復旧、道路幅など）	親族等との相談など	その他	無回答
全体	人数	256	55	80	21	6	59	24	13	20	82
	構成比		21.5%	31.3%	8.2%	2.3%	23.0%	9.4%	5.1%	7.8%	32.0%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	15	19	4	3	16	3	7	5	12
	構成比		26.8%	33.9%	7.1%	5.4%	28.6%	5.4%	12.5%	8.9%	21.4%
野村町 （それ以外）	人数	158	32	50	13	1	31	14	4	12	55
	構成比		20.3%	31.6%	8.2%	0.6%	19.6%	8.9%	2.5%	7.6%	34.8%
野村町以外	人数	42	8	11	4	2	12	7	2	3	15
	構成比		19.0%	26.2%	9.5%	4.8%	28.6%	16.7%	4.8%	7.1%	35.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(4) 住宅再建等への意向について

問 11 住宅再建や住宅の確保等の予定や現在の考え

- 住宅再建や住宅の確保等の予定や現在の考えについては、「既に再建・修理等をした」が 34.8% と最も多く、次いで「被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい」が 21.1% となっている。



	回答数	構成比
既に再建・修理等をした	89	34.8%
被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい	54	21.1%
被災前と同じ住所で自宅を再建したい(同じ敷地で住宅を新築したい)	17	6.6%
被災前に住んでいた賃貸住宅に戻りたい	4	1.6%
市営住宅(災害公営住宅含む)に入居したい	22	8.6%
被災前とは別の住所へ移転したい(市営住宅への入居を除く)	24	9.4%
わからない、まだ決めていない	15	5.9%
市営住宅(災害公営住宅含む)とそれ以外	1	0.4%
不明	3	1.2%
無回答	27	10.5%
計	256	100.0%

■ 「わからない、まだ決めていない」を選んだ理由

- ・ 再建資金、安全性への不安、地域の復興の見通しなどが理由としてあがっている。

ご意見
(カ)被災前とは別の住所へ移転したいが希望だが土地代が心配。いっそ(オ)市営住宅(災害公営住宅含む)に入居したいの方がいいように思う
(イ)被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい。(オ)市営住宅に入居したい。で迷っています。被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい思いもあるが、地下室があるため(川とつながっている)また浸水しないか心配。又、高齢のため、近くの方が皆いなくなると心配。災害公営住宅がどこに建設されるか未定のため、そこで生活していけるか不安。
現在、親類宅に居り、身体の治療に専念している為。
被災前と同じ住所で再建したいのが第1の希望(望むところです)。ただ、本町一丁目、第●班(数値が記載されているが省略、下に同じ)に集団移転を模索する動きがあり、私の所属する第●班の住民より新築、確認申請のいる建物は、今のところ遠慮してくれとの要請をうけております。
三島町がどうなるのかまだ決まってないからもあります。
みなし応急仮設住宅に2年過ぎても住もうと考えている(家賃を払って)
先が見えない。一生住める所をゆっくり考えたい。
資金の問題
住宅再建の費用の問題
被災時の場所が本当に安全なのか、また同じ事が起こるのではないかという不安から、少し高い場所への移転も考えており、良い物件が見つかっていない為と予算もあり、以前と同じ場所に建てるか、とまだ決めかねている。
店は今のところで住まいは別の所を考えている。
住宅を購入したいと思っていますが現状では無理です。空き家を探すか？
すでに別の市営住宅に入居しているから
高齢であること、資産がないこと

■ 被災した地区×住宅再建や住宅の確保等の予定や現在の考え（問 11）

- 被災した地区別にみると、野村町（三島・本町一丁目）において、「被災前とは別の住所へ移転したい（市営住宅への入居を除く）」が他地区と比較して多くなっている。

		回答者数	既に再建・修理等をした	被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい	被災前と同じ住所で自宅を再建したい（同じ敷地で住宅を新築したい）	被災前に住んでいた賃貸住宅に戻りたい	市営住宅（災害公営住宅含む）に入居したい	被災前とは別の住所へ移転したい（市営住宅への入居を除く）	わからない、まだ決めていない	市営住宅（災害公営住宅含む）とそれ以外	不明	無回答
全体	人数	256	89	54	17	4	22	24	15	1	3	27
	構成比		34.8%	21.1%	6.6%	1.6%	8.6%	9.4%	5.9%	0.4%	1.2%	10.5%
野村町 （三島・本町一丁目）	人数	56	15	8	3	0	8	12	5	0	0	5
	構成比		26.8%	14.3%	5.4%	0.0%	14.3%	21.4%	8.9%	0.0%	0.0%	8.9%
野村町 （それ以外）	人数	158	61	35	11	2	11	10	8	1	2	17
	構成比		38.6%	22.2%	7.0%	1.3%	7.0%	6.3%	5.1%	0.6%	1.3%	10.8%
野村町以外	人数	42	13	11	3	2	3	2	2	0	1	5
	構成比		31.0%	26.2%	7.1%	4.8%	7.1%	4.8%	4.8%	0.0%	2.4%	11.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 被災状況×住宅再建や住宅の確保等の予定や現在の考え（問 11）

- 前述のとおり、大規模半壊～一部半壊では修理をする（あるいは既に修理をした）という方が大半であるが、市営住宅希望も7件ある。全壊については市営住宅が14件、別の住所への移転（市営住宅以外）が20件と、現地以外での住宅確保の希望が多くなっている。

		回答者数	既に再建・修理等をした	被災前に住んでいた住宅を修理して住み続けたい	被災前と同じ住所で自宅を再建したい（同じ敷地で住宅を新築したい）	被災前に住んでいた賃貸住宅に戻りたい	市営住宅（災害公営住宅含む）に入居したい	被災前とは別の住所へ移転したい（市営住宅への入居を除く）	わからない、まだ決めていない	市営住宅（災害公営住宅含む）とそれ以外	不明	無回答
全体	人数	256	89	54	17	4	22	24	15	1	3	27
	構成比		34.8%	21.1%	6.6%	1.6%	8.6%	9.4%	5.9%	0.4%	1.2%	10.5%
全壊	人数	94	19	14	11	1	14	20	9	1	0	5
	構成比		20.2%	14.9%	11.7%	1.1%	14.9%	21.3%	9.6%	1.1%	0.0%	5.3%
大規模半壊	人数	45	20	9	4	1	1	2	3	0	1	4
	構成比		44.4%	20.0%	8.9%	2.2%	2.2%	4.4%	6.7%	0.0%	2.2%	8.9%
半壊	人数	95	39	30	2	1	6	1	2	0	1	13
	構成比		41.1%	31.6%	2.1%	1.1%	6.3%	1.1%	2.1%	0.0%	1.1%	13.7%
一部半壊	人数	17	10	1	0	0	0	1	0	0	1	4
	構成比		58.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%
不明	人数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
無回答	人数	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	構成比		33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

※ 問 11 をクロス軸として、更に以下のとおり分類わけをして集計を行った。

問 11 のアンケート選択肢	クロス項目名(住宅再建意向)
ア. 既に再建・修理等をした イ. 被災前に住んでいた住宅を管理して住み続けたい ウ. 被災前と同じ住所で自宅を再建したい(同じ敷地で住宅を新築したい) エ. 被災前に住んでいた賃貸住宅に戻りたい	自力再建・被災前と同じところで
カ. 被災前とは別の住所へ移転したい。(市営住宅への入居を除く)	自力再建・被災前とは別のところで
オ. 市営住宅(災害公営住宅含む)に入居したい ク. 市営住宅(災害公営住宅含む)とそれ以外(回収後、新設した選択肢)	市営住宅(災害公営住宅を含む)
わからない、まだ決めていない	わからない、まだ決めていない
不明	不明
無回答	無回答

■ 住宅再建意向※×世帯主の年齢(問 1)

- 住宅再建意向別に世帯主の年齢をみると、「自力再建・被災前とは別のところで」を選んだ方は、「40歳代」「70歳代」が最も多い。

		回答者数	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	人数	256	2	7	21	41	51	57	71	6
	構成比		0.8%	2.7%	8.2%	16.0%	19.9%	22.3%	27.7%	2.3%
自力再建・被災前と同じところで	人数	164	1	1	11	31	33	38	45	4
	構成比		0.6%	0.6%	6.7%	18.9%	20.1%	23.2%	27.4%	2.4%
自力再建・被災前とは別のところで	人数	24	1	3	6	2	4	6	2	0
	構成比		4.2%	12.5%	25.0%	8.3%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%
市営住宅(災害公営住宅を含む)	人数	23	0	2	3	3	5	5	5	0
	構成比		0.0%	8.7%	13.0%	13.0%	21.7%	21.7%	21.7%	0.0%
わからない、まだ決めていない	人数	15	0	1	1	2	5	3	2	1
	構成比		0.0%	6.7%	6.7%	13.3%	33.3%	20.0%	13.3%	6.7%
不明	人数	3	0	0	0	1	1	0	1	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	人数	27	0	0	0	2	3	5	16	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	11.1%	18.5%	59.3%	3.7%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 住宅再建意向×現在の就業状況(問 4)

- 自力再建希望で無職(年金)の世帯も多く、再建資金への課題が顕在化する可能性もある。

		回答者数	就業者(被災前と同じ職業)	就業者(被災前と異なる職業・転職)	求職中	無職(年金)	無職(失業保険)	無職(その他の定期的な収入)	無職(収入なし)	その他	不明	無回答
全体	人数	256	119	3	0	115	0	2	8	3	2	4
	構成比		46.5%	1.2%	0.0%	44.9%	0.0%	0.8%	3.1%	1.2%	0.8%	1.6%
自力再建・被災前と同じところで	人数	164	79	2	0	70	0	2	5	3	1	2
	構成比		48.2%	1.2%	0.0%	42.7%	0.0%	1.2%	3.0%	1.8%	0.6%	1.2%
自力再建・被災前とは別のところで	人数	24	14	1	0	9	0	0	0	0	0	0
	構成比		58.3%	4.2%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市営住宅(災害公営住宅を含む)	人数	23	11	0	0	9	0	0	3	0	0	0
	構成比		47.8%	0.0%	0.0%	39.1%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない、まだ決めていない	人数	15	7	0	0	6	0	0	0	0	0	2
	構成比		46.7%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
不明	人数	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	構成比		66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	27	6	0	0	20	0	0	0	0	1	0
	構成比		22.2%	0.0%	0.0%	74.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 住宅再建意向×被災した住宅の被災状況（問7）

- 「自力再建・被災前とおなじところで」を選んだ方では「半壊」、それ以外の方は「全壊」が最も多くなっている。

		回答者数	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	不明	無回答
全体	人数	256	94	45	95	17	2	3
	構成比		36.7%	17.6%	37.1%	6.6%	0.8%	1.2%
自力再建・被災前と同じところで	人数	164	45	34	72	11	0	2
	構成比		27.4%	20.7%	43.9%	6.7%	0.0%	1.2%
自力再建・被災前とは別のところで	人数	24	20	2	1	1	0	0
	構成比		83.3%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%
市営住宅(災害公営住宅を含む)	人数	23	15	1	6	0	1	0
	構成比		65.2%	4.3%	26.1%	0.0%	4.3%	0.0%
わからない、まだ決めていない	人数	15	9	3	2	0	0	1
	構成比		60.0%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%
不明	人数	3	0	1	1	1	0	0
	構成比		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	人数	27	5	4	13	4	1	0
	構成比		18.5%	14.8%	48.1%	14.8%	3.7%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

■ 住宅再建意向×住宅再建等にあたっての課題（問10）

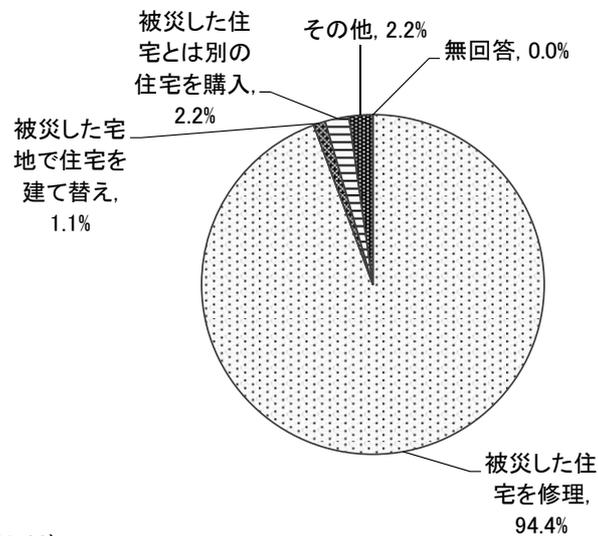
- 住宅再建意向別に住宅再建等にあたっての課題をみると、「自力再建・被災前と同じところで」を選んだ方では、「住宅の修理にかかる費用」、それ以外の方では「住宅の再建（建設）にかかる費用」が最も多くなっている。また、「自力再建・被災前とは別のところで」を選んだ方において「宅地の整備にかかる費用」が多くなっている。

		回答者数	住宅の再建(建設)にかかる費用	住宅の修理にかかる費用	宅地の整備にかかる費用	被災時に住んでいた住宅の債務(ローン)、家賃等	敷地の安全性	敷地前の道路(復旧、道路幅など)	親族等との相談など	その他	無回答
全体	人数	256	55	80	21	6	59	24	13	20	82
	構成比		21.5%	31.3%	8.2%	2.3%	23.0%	9.4%	5.1%	7.8%	32.0%
自力再建・被災前と同じところで	人数	164	24	72	12	4	42	18	4	8	48
	構成比		14.6%	43.9%	7.3%	2.4%	25.6%	11.0%	2.4%	4.9%	29.3%
自力再建・被災前とは別のところで	人数	24	15	2	6	0	5	2	3	1	6
	構成比		62.5%	8.3%	25.0%	0.0%	20.8%	8.3%	12.5%	4.2%	25.0%
市営住宅(災害公営住宅を含む)	人数	23	9	0	0	1	5	1	4	2	9
	構成比		39.1%	0.0%	0.0%	4.3%	21.7%	4.3%	17.4%	8.7%	39.1%
わからない、まだ決めていない	人数	15	7	1	3	1	4	0	2	6	1
	構成比		46.7%	6.7%	20.0%	6.7%	26.7%	0.0%	13.3%	40.0%	6.7%
不明	人数	3	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
無回答	人数	27	0	3	0	0	3	3	0	3	17
	構成比		0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	63.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問 11-2 住宅の再建等方法（問 11 で「既に再建・修理等をした」を選択された方のみ回答）

- 「既に再建・修理等をした」と回答された方の住宅の再建等の方法については、「被災した住宅を修理」が 94.4%となっている。



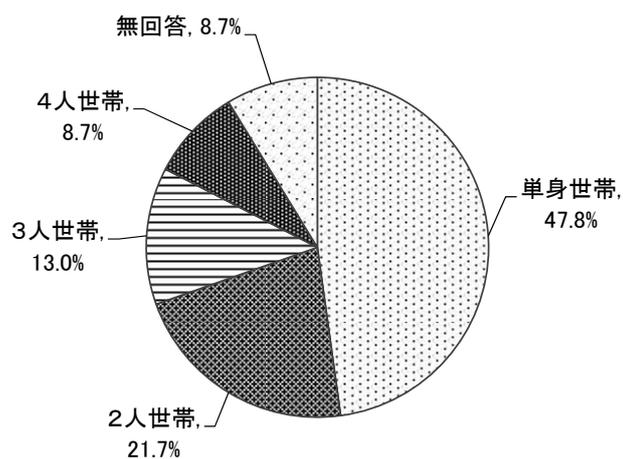
	回答数	構成比
被災した住宅を修理	84	94.4%
被災した宅地で住宅を建て替え	1	1.1%
被災した住宅とは別の住宅を購入	2	2.2%
その他	2	2.2%
無回答	0	0.0%
計	89	100.0%

(5) 市営住宅（災害公営住宅）について

※問 12～17 については、問 11 で「市営住宅（災害公営住宅含む）に入居したい」「市営住宅（災害公営住宅含む）とそれ以外」を選択された方のみ回答

問 12 市営住宅（災害公営住宅）に入居する予定の家族人数等

- 入居する予定の家族人数については、「単身世帯」が 47.8%と最も多く、次いで「2人世帯」が 21.7%となっている。

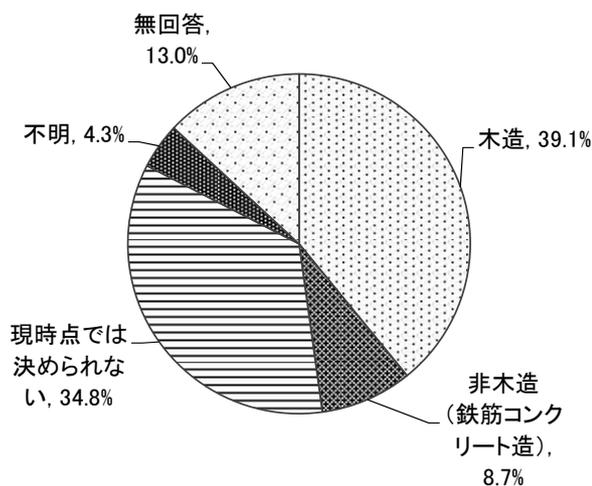


	回答数	構成比
単身世帯	11	47.8%
2人世帯	5	21.7%
3人世帯	3	13.0%
4人世帯	2	8.7%
無回答	2	8.7%
計	23	100.0%

(N=23)

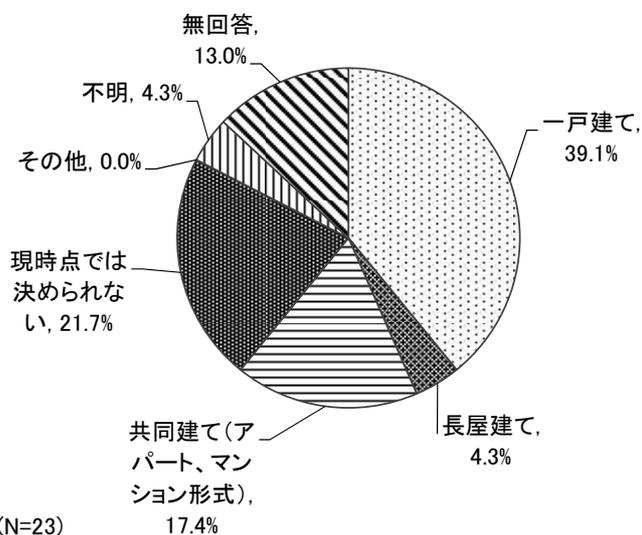
問 13 入居を希望する市営住宅（災害公営住宅）のタイプ（構造及び建て方）

- 希望する市営住宅の構造については、「木造」が 39.1%と最も多く、次いで「現時点では決められない」が 34.8%となっている。
- 希望する市営住宅の建て方については、「一戸建て」が 39.1%と最も多く、次いで「現時点では決められない」が 21.7%となっている。



(N=23)

	回答数	構成比
木造	9	39.1%
非木造 (鉄筋コンクリート造)	2	8.7%
現時点では決められない	8	34.8%
不明	1	4.3%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

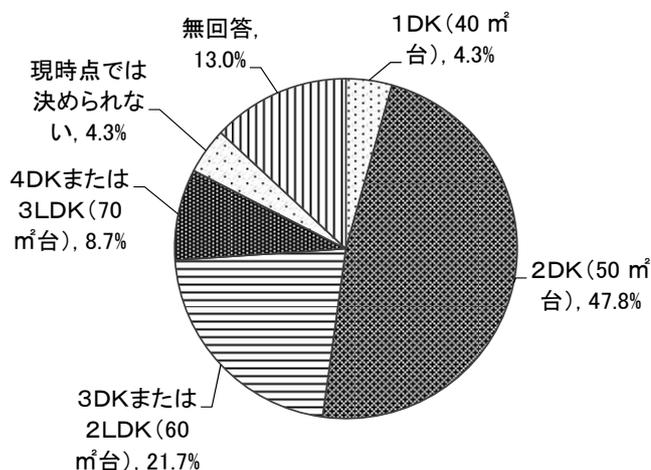


(N=23)

	回答数	構成比
一戸建て	9	39.1%
長屋建て	1	4.3%
共同建て (アパート、マンション形式)	4	17.4%
現時点では決められない	5	21.7%
その他	0	0.0%
不明	1	4.3%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

問 14 入居を希望する市営住宅（災害公営住宅）の間取り・規模（面積）

- 希望する市営住宅の間取り・規模（面積）については、「2DK（50㎡台）」が47.8%と最も多く、次いで「3DKまたは2LDK（60㎡台）」が21.7%となっている。



	回答数	構成比
1DK (40㎡台)	1	4.3%
2DK (50㎡台)	11	47.8%
3DKまたは2LDK (60㎡台)	5	21.7%
4DKまたは3LDK (70㎡台)	2	8.7%
現時点では決められない	1	4.3%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

(N=23)

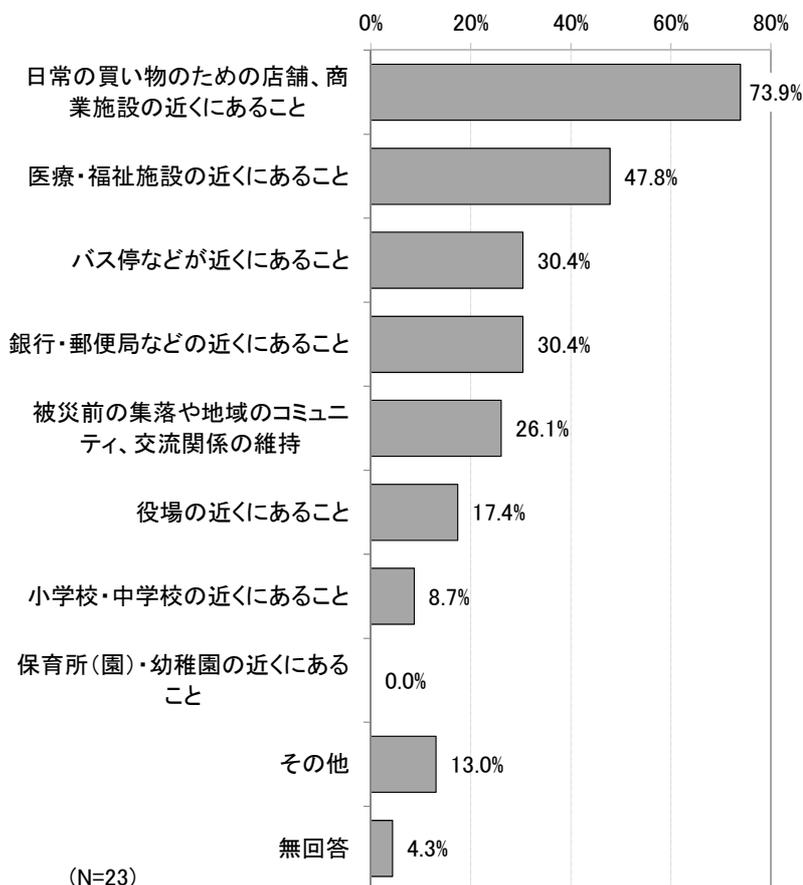
■ 入居予定人数（問 12）×入居を希望する間取り・規模（問 14）

		回答者数	1DK (40㎡台)	2DK (50㎡台)	3DKまたは2LDK (60㎡台)	4DKまたは3LDK (70㎡台)	現時点では決められない	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全体	人数	23	1	11	5	2	1	3
	構成比		4.3%	47.8%	21.7%	8.7%	4.3%	13.0%
単身世帯	人数	11	1	9	1	0	0	0
	構成比		9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
2人世帯	人数	5	0	2	2	0	1	0
	構成比		0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
3人世帯	人数	3	0	0	2	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
4人世帯	人数	2	0	0	0	1	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問 15 市営住宅（災害公営住宅）の立地場所などで重視すること

- 市営住宅の立地場所などで重視することについては、「日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること」が73.9%と最も多く、次いで「医療・福祉施設の近くにあること」が47.8%となっている。



	回答数	構成比
バス停などが近くにあること	7	30.4%
日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること	17	73.9%
銀行・郵便局などの近くにあること	7	30.4%
医療・福祉施設の近くにあること	11	47.8%
保育所(園)・幼稚園の近くにあること	0	0.0%
小学校・中学校の近くにあること	2	8.7%
役場の近くにあること	4	17.4%
被災前の集落や地域のコミュニティ、交流関係の維持	6	26.1%
その他	3	13.0%
無回答	1	4.3%
計	23	100.0%

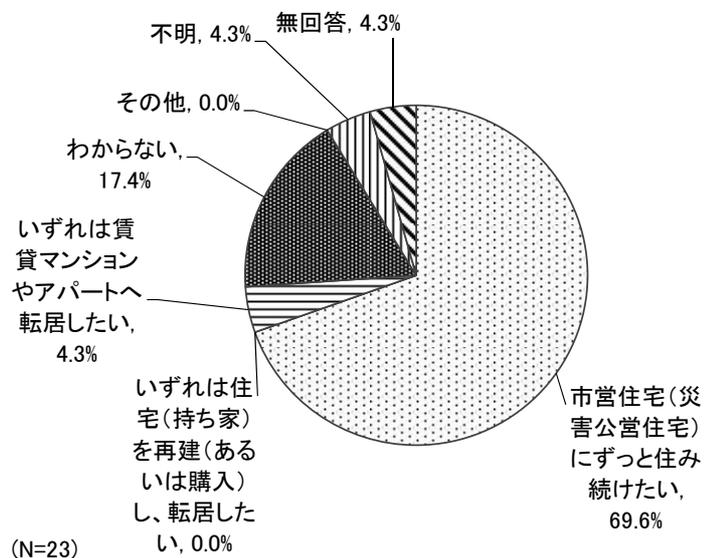
注) 構成比は、回答者数(23人)を母数として算出

<その他の具体的内容>

- ・車を使用できるので町内ならどこでも良い
- ・今後、災害の被害にあうリスクの少ない場所

問 16 市営住宅（災害公営住宅）の入居期間等について、現時点の希望など

- 市営住宅の入居期間等に対する希望については、「市営住宅（災害公営住宅）にずっと住み続けたい」が 69.6%と最も多く、次いで「わからない」が 17.4%となっている。



	回答数	構成比
市営住宅（災害公営住宅）にずっと住み続けたい	16	69.6%
いずれは住宅（持ち家）を再建（あるいは購入）し、転居したい	0	0.0%
いずれは賃貸マンションやアパートへ転居したい	1	4.3%
わからない	4	17.4%
その他	0	0.0%
不明	1	4.3%
無回答	1	4.3%
計	23	100.0%

問 17 市営住宅（災害公営住宅）についての意見等（自由記述欄）

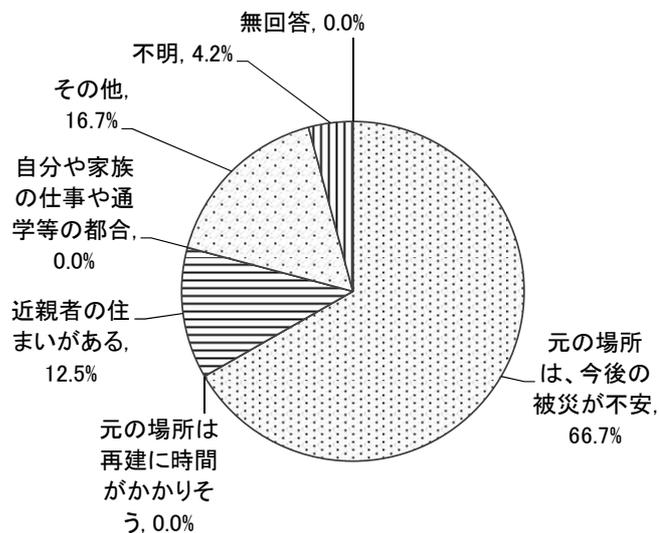
ご意見
一戸建て以外は完璧にしてもらいたい。
住宅の近くに駐車場が欲しい。
バリアフリーの部屋が理想。バリアフリーがなくても1階が希望（足が弱く、車イス使用をすることがあるので）。
単身（高齢者）の住宅は電化住宅が望ましいです。キッチン、浴室、冷暖房等、つける・消す、がわかりやすい簡単なものがよいです。備え付けしてもらっていたらありがたいです。緊急時（災害時、体調不良時）受話器を取るだけでどこかに通ずるような見守りネットワークのようなシステムがあったら安心です。
家賃の料金は安い方がよい。
今まで支払っていた伊賀上一の瀬団地より高い住宅料は支払い困難ですから値上げしない様お願いします。

(6) 移転再建について

※問 18～22 については、問 11 で「被災前とは別の住所に移転したい」を選択された方のみ回答)

問 18 移転したい理由

- ・ 移転したい理由については、「元の場所は、今後の被災が不安」が 66.7%と最も多く、次いで「近親者の住まいがある」が 12.5%となっている。



(N=24)

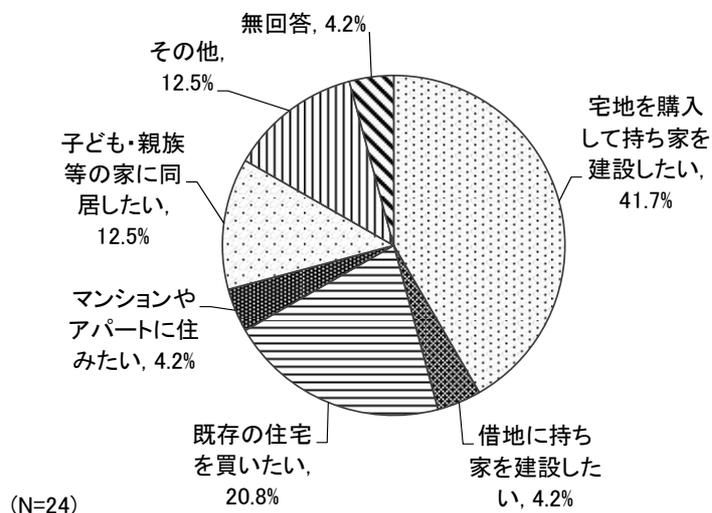
	回答数	構成比
元の場所は、今後の被災が不安	16	66.7%
元の場所は再建に時間がかかりそう	0	0.0%
近親者の住まいがある	3	12.5%
自分や家族の仕事や通学等の都合	0	0.0%
その他	4	16.7%
不明	1	4.2%
無回答	0	0.0%
計	24	100.0%

<その他の具体的内容>

- ・被災前は借家だったため。家主さんが取壊しを決めたので。
- ・元の家は解体と聞いている。借家だったので元の所は住めない。
- ・持ち家が有ったから
- ・元の場所に新築、次はあの世行き。
- ・元の場所に新築を建てる事が出来ないと市から言われた。
- ・要介護3、介護施設希望

問 19 移転先の住まいの希望

- 移転先の住まいの希望については、「宅地を購入して持ち家を建設したい」が41.7%と最も多く、次いで「既存の住宅を買いたい」が20.8%となっている。



	回答数	構成比
宅地を購入して持ち家を建設したい	10	41.7%
借地に持ち家を建設したい	1	4.2%
既存の住宅を買いたい	5	20.8%
マンションやアパートに住みたい	1	4.2%
子ども・親族等の家に同居したい	3	12.5%
その他	3	12.5%
無回答	1	4.2%
計	24	100.0%

<その他の具体的内容>

- ・購入済
- ・長男の宅地に建てたい

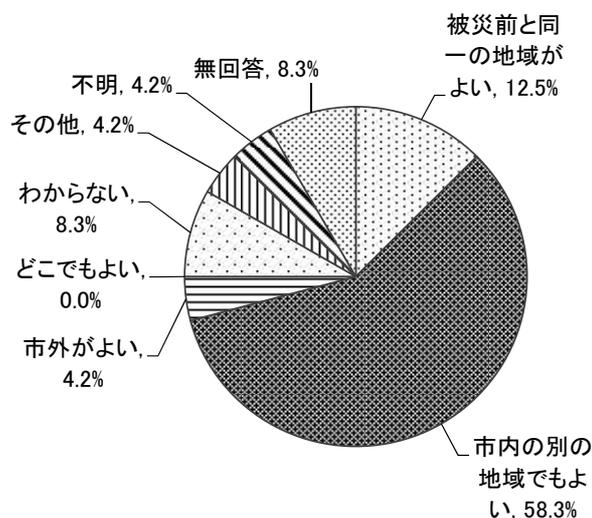
■ 被災した地区×移転先での住まいの希望（問 19）

	回答者数	宅地を購入して持ち家を建設したい	借地に持ち家を建設したい	既存の住宅を買いたい	マンションやアパートに住みたい	子ども・親族等の家に同居したい	その他	無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	24	10	1	5	1	3	3	1
		41.7%	4.2%	20.8%	4.2%	12.5%	12.5%	4.2%
野村町 (三島・本町一丁目)	12	4	1	3	1	2	1	0
		33.3%	8.3%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%
野村町 (それ以外)	10	6	0	1	0	1	1	1
		60.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%
野村町以外	2	0	0	1	0	0	1	0
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問 20 移転先の住所（希望）

- ・ 移転先の住所（希望）については、「市内の別の地域でもよい」が58.3%と最も多く、次いで「被災前と同一の地域がよい」が12.5%となっている。



(N=24)

	回答数	構成比
被災前と同一の地域がよい	3	12.5%
市内の別の地域でもよい	14	58.3%
市外がよい	1	4.2%
どこでもよい	0	0.0%
わからない	2	8.3%
その他	1	4.2%
不明	1	4.2%
無回答	2	8.3%
計	24	100.0%

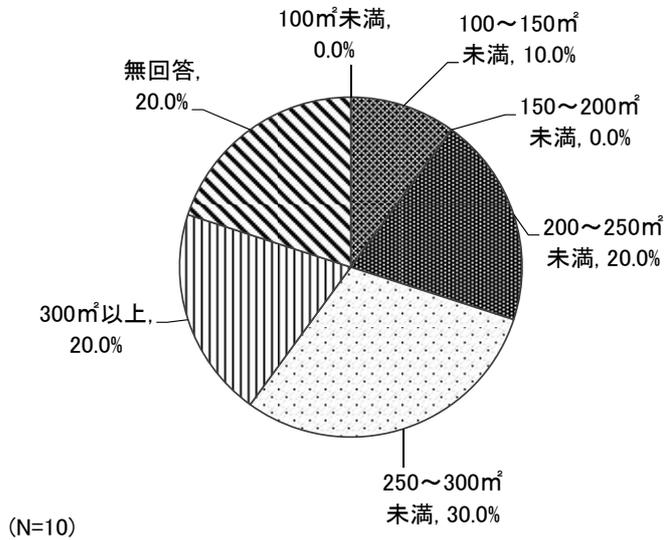
<その他の具体的内容>

- ・ 安全性が確保される所。
- ・ 今回の様な被災が無い場所、出来るだけ高台となり水害の心配が無い所
- ・ スーパー、病院に近い方がいい。
- ・ 伊賀上●●●●（具体的な住所のため省略）
- ・ 宇和町【2票】
- ・ 権現辺り
- ・ 城川町
- ・ 高瀬あるいは片川
- ・ 野村地区
- ・ 野村町内
- ・ 野村町野村●●●●●●●●（具体的な住所のため省略）
- ・ 野村町権見辺り
- ・ 野村町内の少し高い場所で日当たりの良い場所
- ・ 野村町内の高台の安全だと思われる場所に行きたい。
- ・ 本町二丁目
- ・ 松山市、伊予市
- ・ 緑ヶ丘、大和田地区
- ・ 緑ヶ丘、権現岡組

問 21 宅地（敷地）の規模の希望

※問 19 で「宅地を購入して持ち家を建設したい」を選択された方のみ回答

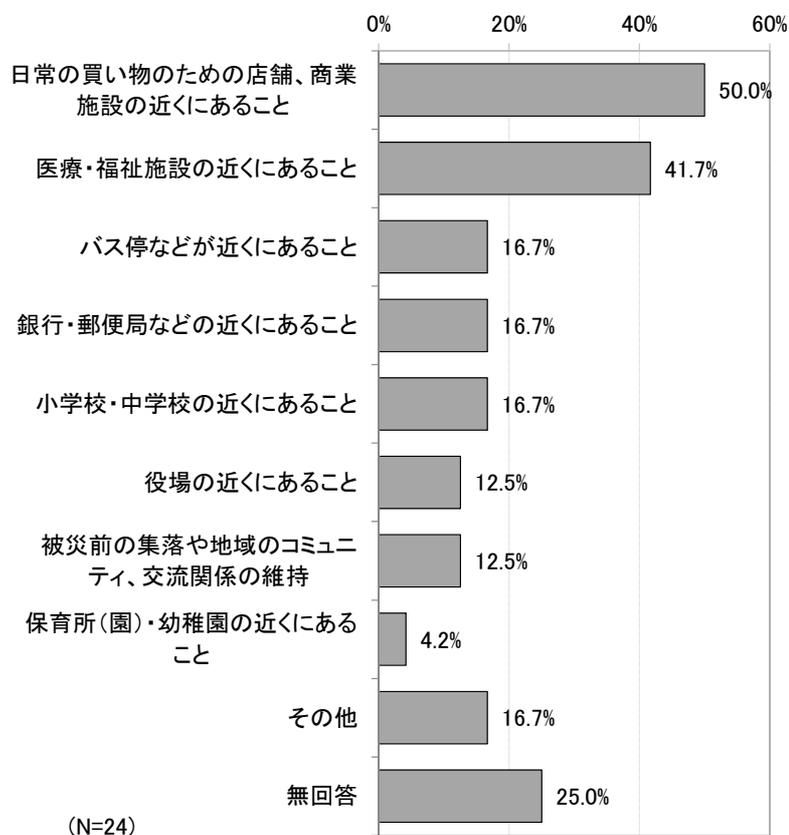
- ・ 宅地（敷地）の規模の希望については、「250～300 m²未満」が 30.0%と最も多くなっている。



	回答数	構成比
100m ² 未満	0	0.0%
100～150m ² 未満	1	10.0%
150～200m ² 未満	0	0.0%
200～250m ² 未満	2	20.0%
250～300m ² 未満	3	30.0%
300m ² 以上	2	20.0%
無回答	2	20.0%
計	10	100.0%

問 22 移転先について重視すること

- ・ 移転先について重視することについては、「日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること」が 50.0%と最も多く、次いで「医療・福祉施設の近くにあること」が 41.7%となっている。



	回答数	構成比
バス停などが近くにあること	4	16.7%
日常の買い物のための店舗、商業施設の近くにあること	12	50.0%
銀行・郵便局などの近くにあること	4	16.7%
医療・福祉施設の近くにあること	10	41.7%
保育所(園)・幼稚園の近くにあること	1	4.2%
小学校・中学校の近くにあること	4	16.7%
役場の近くにあること	3	12.5%
被災前の集落や地域のコミュニティ、交流関係の維持	3	12.5%
その他	4	16.7%
無回答	6	25.0%
計	24	100.0%

注) 構成比は、回答者数(24人)を母数として算出

<その他の具体的内容>

- ・ 安全性
- ・ 高台
- ・ 町内より離れすぎず、少し高い場所
- ・ 元の場所で仕事をしているので近いところ